

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人秀峰会	代表者	櫻井 大	法人・事業所の特徴	同法人は、「横浜の大地に住まう人々の、生活障害の軽減を支援する願い」を持って事業活動を進め、市内全域で介護分野の全ての形態の事業を展開し、100ヶ所を超える事業所を運営しています。 「われもこう」はご利用者にとって、いつでも通えて泊まれる『近所にあるもう一つの家』と思っていただける施設でありたいとまた、介護職員、看護職員が連携してご利用者様を見守る目と支える手として機能したいと考えています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 われもこう	管理者	立石 しおり		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	1人	0人	0人	1人	0人	2人	0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	積極的にご利用者様や家族、職員の意見を取り入れ、ミーティングや個別支援実現を目指す。	スタッフ会議内の研修やご家族からの聞き込みにて要望をお聞きし、支援を実施した	ご利用者の方の介護度が上がる方もいらっしゃると思うし、全ての要望を叶えるのは大変だと思いました	ご利用者様の希望を叶えるために聞き取りを大切にする。また雑談の中にも要望は隠れているので聞き流さない。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症蔓延ゼロを目標に環境整備や職員への研修などを継続する。	感染症への理解と研修を実施、環境整備なども進めている	施設内は明るくとても良い雰囲気	感染症蔓延ゼロ目標に定期的な研修や環境整備を実施する。また、ご利用者様だけではなくご家族もわれもこうで過ごしやすい環境を作る
C. 事業所と地域のかかわり	地域で開催する活動には積極的な参加を図り、近隣園児たちとの交流は継続する。事業所主催の行事で地域の方が参加できる環境を作る。	地域活動への参加、保育園児との交流が行えた。しかし、事業所主催の行事は地域の方々やご家族を呼べるまでには至らず	自治会開催の夏祭りや餅つきにご利用者の参加もありました。その際のご利用者の笑顔が大変印象に残っています	感染症の心配が無い時には、ご利用者家族も参加できる行事を創造する。地域開催の活動にはご利用者様と積極的に参加し、近隣の園児との交流も継続
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご利用者様の夢や希望を叶える個別支援（外出・外食レク）の再開に取り組む	外出レク（食事や買い物）を積極的に支援、散歩などの外出なども実施	毎回、地域行事には積極的に参加されている。参加されたご利用者の笑顔を見て心温まりました	ご利用者様の要望を叶える、外出レクや外食レクを積極的に支援し実現させる
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の対面開催を積極的に推進し、参加者の意見交流を図る	運営推進会議全て対面開催実施し意見交流を行う	地域に対して要望があればどんどん話してください	対面実施は勿論のこと、積極的な意見交流が図れる場とする
F. 事業所の防災・災害対策	計画的な災害想定避難訓練を年2回実施し、自治会の方々の参加を相談。	年2回とBCP避難訓練（消防立ち合い）を実施。しかし、施設の上階の方の訓練参加無し	携帯が繋がらないなども想定し、臨機応変に対応することが大切	避難訓練は計画的に実施し、4月からのBCPに対し職員全員で取り組む